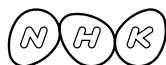


# 平成 22（2010）年度 第 1 四半期業務報告

## 添付資料

- 資料 1 平成 22 年度第 1 四半期 主な受賞番組
- 資料 2 「改革推進プロジェクト」等の開催状況
- 資料 3 NHK オンデマンド主要数値
- 資料 4 平成 22 年度 放送技術研究所公開の概要



日本放送協会

(資料1)

<平成22年度 第1四半期 主な受賞番組>

- 第46回 ヒューゴ・テレビ賞
  - 【子ども番組部門】奨励賞  
「シャキーン！」
  - 【ドラマ番組部門】奨励賞  
広島発 特集ドラマ「火の魚」
  - 【ドキュメンタリー番組（社会・政治）部門】奨励賞  
NHKスペシャル 揺れる大国 プーチンのロシア  
第3回「離反か従属か〜グルジアの苦悩〜」
  
- 第18回 橋田賞  
「ダーウィンが来た！生きもの新伝説」
  
- ニューヨークフェスティバル2010
  - 【ドキュメンタリー・情報部門（地域社会番組）】 銀賞  
NHKスペシャル「ヤノマミ ～奥アマゾン 原初の森に生きる～」
  
- 第36回放送文化基金賞
  - 【テレビドキュメンタリー番組】  
本賞  
ハイビジョンふるさと発「嵐の気仙沼 ～宮城・港町の特別な一日～」  
番組賞  
NHKスペシャル「日本海軍400時間の証言 第2回 特攻“やましき沈黙”」  
番組賞  
NHKスペシャル「証言ドキュメント 永田町・権力の興亡」  
第1回 1993 - 1995 “政権交代”誕生と崩壊の舞台裏  
番組賞  
BS特集 民衆が語る中国・建国60年「第1章 新中国誕生」  
「第2章 人民公社と大躍進の時代」
  - 【テレビドラマ番組】  
本賞  
阪神・淡路大震災15年 特集ドラマ「その街のこども」  
優秀賞  
広島発ドラマ「火の魚」
  - 【テレビエンターテインメント番組】 番組賞  
連続人形活劇「新・三銃士」 第21話 銃士への道のり
  - 【ラジオ番組】 優秀賞  
FMシアター「かわり目 ～父と娘の15年～」
  
- ワールド・メディアフェスティバル2010
  - 【ドキュメンタリー部門（スポーツ）】 金賞  
SAMURAI SPIRIT-Kyudo（弓道）

- 【ドキュメンタリー部門（政治）】金賞
    - 探検ロマン世界遺産スペシャル
    - 「記憶の遺産 アウシュビッツ・ヒロシマからのメッセージ」
  - 【エンターテインメント部門（コメディ）】銀賞
    - 特集「星新一ショートショート」
  - 【エンターテインメント部門（家族向け）】銀賞
    - テレ遊びパフォー！怪獣映画「ゲハラ」50分拡大スペシャル！
  
- アルバール国際動物映像祭
  - 特別審査員賞
  - プレミアム8 ワイルドライフ
  - 「知られざるアフリカの大自然シリーズ 群れで生き抜く」
  
- 第47回 ギャラクシー賞
  - 【テレビ部門】
  - 大賞
    - ETV特集「死刑囚永山則夫 獄中28年間の対話」
  - 選奨
    - NHKスペシャル「日本海軍400時間の証言」
  - 選奨
    - ハイビジョン特集「“津軽”～生誕100年 太宰治と故郷～」
  - 特別賞
    - ETV特集シリーズ「日本と朝鮮半島2000年」
  - 【ラジオ部門】
  - 優秀賞
    - FMシアター「心にナイフをしのばせて」
  
- 第7回ソウル・グリーン・フェスティバル
  - 最優秀短編ドキュメンタリー賞
  - 発掘アジアドキュメンタリー「私は黄砂と闘う」
  
- 第50回モンテカルロ・テレビ祭
  - 【フィクション番組（テレビ映画）部門】ゴールドニンフ賞（部門最優秀賞）
  - 広島発ドラマ「火の魚」
  
- 2010年バンフテレビ祭
  - 【ドキュメンタリー分野 歴史伝記番組部門】ロッキー賞
  - ハイビジョン特集フロンティア・
  - BS世界のドキュメンタリー「ライブチヒの奇跡」
  - 【ドキュメンタリー分野 政治番組部門】ロッキー賞
  - BS世界のドキュメンタリー「イランとアメリカ 対立の構図」
  - 【ドキュメンタリー分野 社会人道番組部門】ロッキー賞
  - ハイビジョン特集
  - 「忘れられし王妃～イラン革命30年ふたりの女性の人生の空白～」

- 第16回上海テレビ祭
  - 【外国アニメーション部門】銀賞  
「川の光」
  
- 第43回アメリカ国際フィルム・ビデオ祭
  - 【エンターテインメント分野】グランプリ
  - 【アニメーション部門】ゴールドカメラ賞（部門1位）  
「川の光」
  - 【ミニシリーズドキュメンタリー部門】シルバースクリーン賞（部門2位）  
NHKスペシャル マネー資本主義  
第1回「“暴走”はなぜ止められなかったのか？～アメリカ投資銀行の興亡～」
  - 【子ども番組部門】クリエイティブ・エクセレンス賞（部門3位）  
天才てれびくんMAXビットワールド「緊急生放送！過去と現在ふたつの部屋」
  - 【30分未満ドキュメンタリー部門】クリエイティブ・エクセレンス賞（部門3位）  
発掘アジアドキュメンタリー「私は黄砂と闘う」  
発掘アジアドキュメンタリー「夢を織るプリンセス」

## 「改革推進プロジェクト」等の開催状況(平成22年度第1四半期)

平成22年

4月27日 経営委員会に 平成21年度第4四半期業務報告

▽経営委員会への会長報告(案)は、経営企画局が改革推進プロジェクトと連携して取りまとめた。

▽21年度事業運営総括のほか、接触率の向上と受信料支払率向上の経営2目標の達成状況、経営9方針の年間総括などを報告した。

5月10日 ブロック経営会議(第4回)

▽第4四半期業務報告を経営委員会に報告したことを受け、ブロック経営会議を開催し21年度の総括を行うとともに、管理職異動を前に22年度の課題と対応について「1か月点検」を行った。

▽経営2目標について、受信料支払率や収入確保、接触率向上に向けた取り組みなどの現状を報告し、今後の課題について議論を行った。

▽また、「地域に密着した人材活用の新たな取り組み」について、検討の状況と課題を共有し、今後の対応について意見を交換した。

▽平成23年7月のテレビ放送の完全デジタル化に向けて、BSアナログ受信世帯のデジタル移行や絶対難視聴世帯への対応などの課題を確認した。あわせて「地上放送の完全デジタル移行に関するリスク一覧」などで各局が抱える課題を共有し、本部と各局が連携して取り組みをさらに強化していくことを確認した。

5月17日 改革推進プロジェクト本部担当者会議

▽「第4回ブロック経営会議」との一連で、本部担当者による改革推進プロジェクト会議を開催。

▽「第4回ブロック経営会議」の議事内容を確認し、とくに「地域に密着した人材活用の新たな仕組み」について、労務・人事室から改めて説明を行い、考え方を共有した。

▽3ヵ年経営計画の初年度にあたる平成21年度の改革推進プロジェクトの活動を総括し、今後の課題について議論を行った。

▽このほか「受信料の支払率向上と収入確保に向けたオールNHKの取り組み」の進捗状況を紹介し共有した。

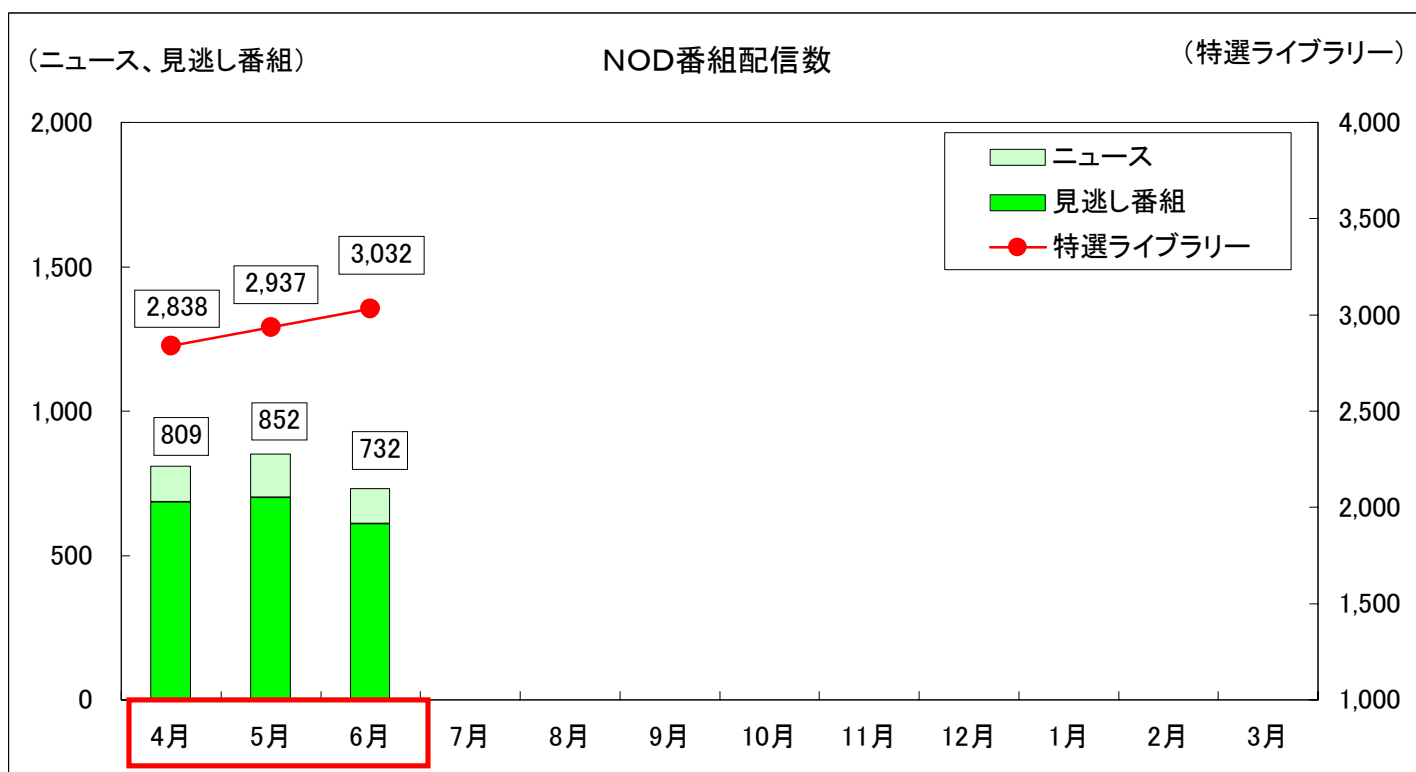
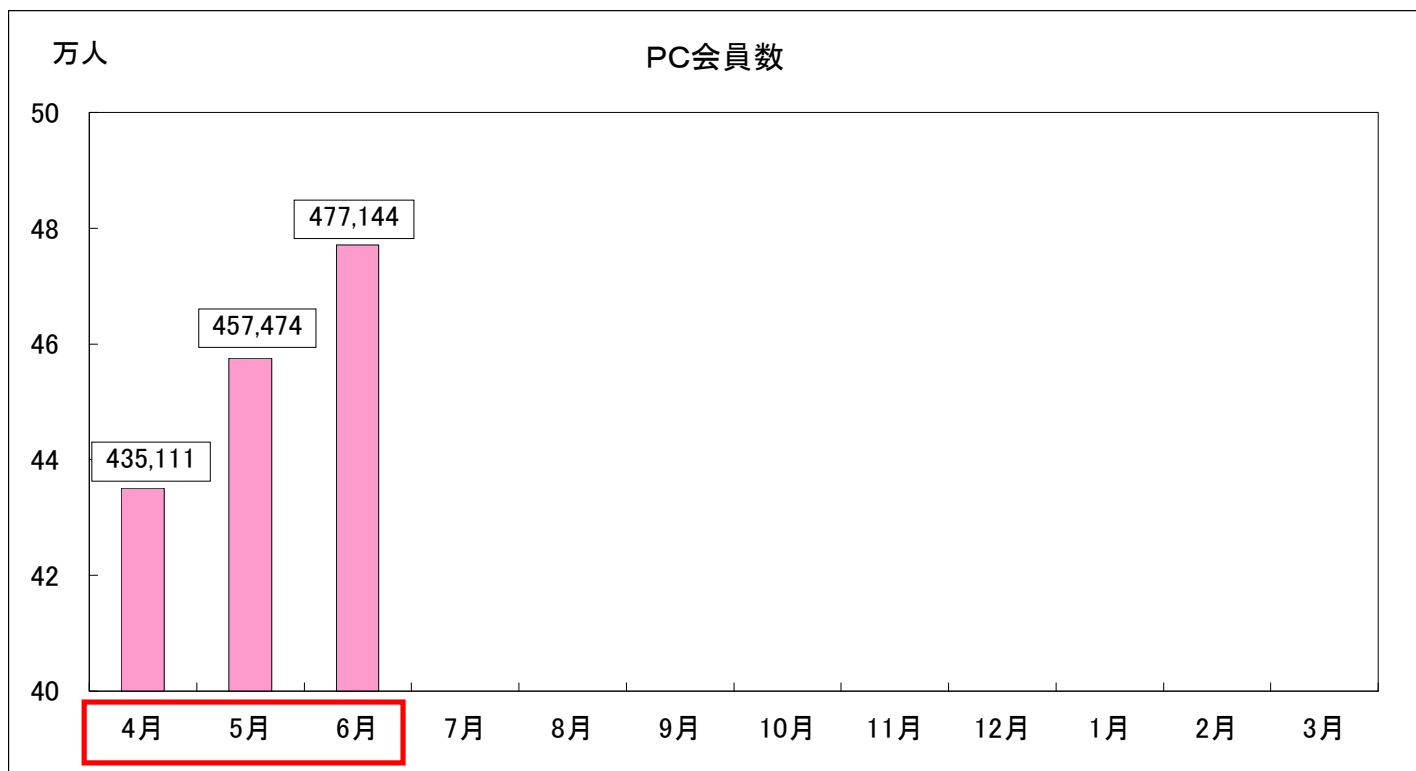
#### 6月18日 改革推進プロジェクト全体会議（第8回）

- ▽管理職異動後、新体制での第1回全体会議。改革推進プロジェクトの役割（四半期業務報告を軸にした経営計画、改革推進プログラムの点検修正、組織横断的に共有すべき経営課題の検討など）、課題を確認した。
- ▽24年度からの次期経営計画について、策定に向けたスケジュールや検討課題などを紹介し、改革推進プロジェクトとの連携の必要性などを確認した。
- ▽22年度事業計画工程表をもとに今後の予定を確認するとともに、四半期業務報告の進め方等について昨年度の実績を踏まえて議論し、情報や課題を共有した。
- ▽平成23年7月のテレビ放送の完全デジタル化に向けて、デジタル放送の世帯普及率や今後の普及活動、関東地域における取り組み強化などについて情報を共有した。
- ▽「受信料の支払率向上と収入確保に向けたオールNHKの取り組み」について、これまでの経過や最新の活動（集合デジタル化チェック活動、新築マンション情報提供の窓口設置など）の状況を確認した。
- ▽「若者トークセッション」のこれまでの実績と今後の進め方について報告した。

#### 6月25日 改革推進会議（第5回）

- ▽新体制となり、計画達成と経営諸課題をテーマに開催された本部局長・全国放送局長会議にあわせて「改革推進会議」を開催し、今後に向けた課題の共有を図った。
- ▽四半期業務報告による目標・方針管理の考え方や作業スケジュール等を確認した。
- ▽また完全デジタル移行に向けた課題（地上テレビ放送のデジタル化、BSのデジタル化）を共有したほか、昨年度に続き今年度も行われている「地域放送等による“地デジ準備”周知の企画募集と経費支援」について進捗状況を紹介し、取り組みを強化していくことを確認した。

### NHKオンデマンド主要数値 平成22年度第1四半期



# 平成22年度 放送技術研究所公開の概要

- ◆ 実施期間 平成22年5月25日(火)～30日(日)
- ◆ 公開のポイント

- “技研80年 さらなる未来へ”をテーマに、最新の研究成果を44項目展示。期間中の来場者数 22,087 人
- 経営計画の「いつでも、どこでも、もっと身近にNHK」を目指す「放送通信連携技術」、将来のメディアを開拓する「スーパーハイビジョン」の技術や「インテグラル立体テレビ」、全ての人に情報をお届けする「人にやさしい放送」技術などを展示。
- 接触率向上に向けたオールNHKの取り組みとして、NHKネットクラブと連携して、会員優先のガイドツアー、子供科学イベントを実施。



## ◆ 主な展示内容

### スーパーハイビジョン

#### ■ 最新のスーパーハイビジョン技術の展示

- スーパーハイビジョンシアター(450インチ大スクリーン)ではフル解像度3板プロジェクターで新作を上映
- フル解像度の3300万画素のスーパーハイビジョンカメラを開発
- スーパーハイビジョン映像信号の高画質・高効率な圧縮を実現



スーパーハイビジョンシアターの展示



フル解像度  
スーパーハイビジョンカメラ

### 立体テレビ

#### ■ より自然な立体テレビを目指したインテグラル立体テレビの研究

- 微小レンズアレー(規則正しく配列した小さなレンズの集合体)を用いたメガネ不要の立体テレビの展示。左右・上下の視差も再現
- スーパーハイビジョン技術の応用で、解像度 400×250 画素の立体映像を実現
- 新しいレンズアレーや歪補正技術で、再生立体像の画質を改善



インテグラル立体テレビの展示



ブース内の様子

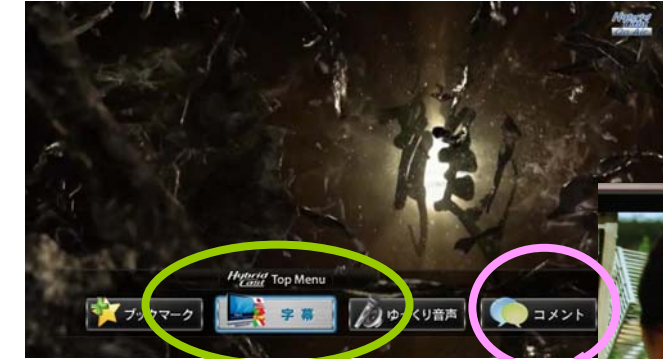
### 放送と通信の連携サービス

#### ■ 放送と通信、それぞれの特長を生かした新しい形のサービス(Hybridcast)を展示

- 視聴者の好みに応じて放送と通信を組み合わせる拡張コンテンツサービス
- ネット上の仲間と番組を通じたつながりを提供するソーシャルネットワークサービス
- 本人の嗜好や他の視聴者の評判からタイムリーに番組を推薦するサービス



お薦め番組をTV画面上に表示



お年寄りや聴覚障害者の方々へのサービス



仲間と意見や感想を共有するサービス

### 人にやさしい技術

#### ■ より“人にやさしい放送”に向けた技術研究

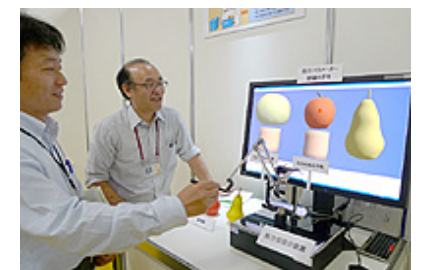
- 手指の細かい動きも表現できる、自然で高品位な手話 CG の自動生成システム
- 音声認識を利用した生字幕生成システム(小型化/省力化)
- 触って伝わるテレビの実現を目指し、物体を触った感覚を伝える技術の研究



CGによる手話アニメーション



生字幕生成システム



触覚を伝えるテレビのデモ